

# 木乃き庵通信

9月号  
Vol.1

## お仕事ピックアップ!!

鎌倉市大船駅から少しのところにお店を構えている「大船JAM」様から看板製作のご依頼を受けました。

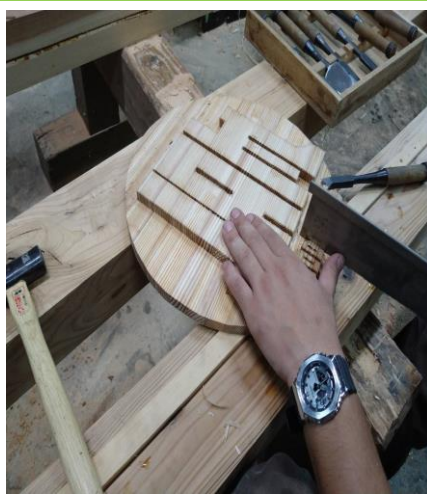
大工さんが作る看板ならではの工夫としましては、板は浮造り処理を行い、その上から塗装を行うことで、うっすらと木目が浮き上がるように加工しました。お店のロゴは板に転写した後、丁寧に彫り込みをしました。塗装は水性塗料を用いて、野外での使用に耐えるように製作しました。今後経年による風味が楽しめます。



完成品：作業場撮影



仮置き



ロゴ加工



ロゴの下書き

## 社長に聞く!!

— どのような経緯で看板作成のご依頼が入りましたか。

社長(以下社) プライベートで普段から交友があった中で、会社設立のお話をした際に頼んでいただきました。木を用いた仕事はこちらも望むところでしたので、是非にと受けさせていただきました。

— 作成時に思っていたことは。

社 元々置いてあった看板(現在も活躍中)と同じような雰囲気になるようにと考えていました。

— 特に力を入れた作業についてお話しください。

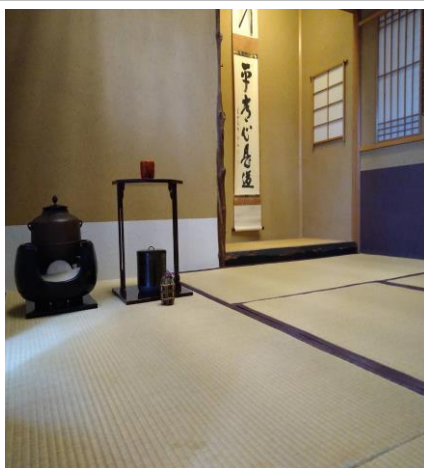
社 前の段にも話しましたが、以前の物は10年間もお店の看板であったそうなので、そこにある【JAM】のロゴマークと同じようになるように、集中して作業しました。是非お店に行っていたいて見てほしいです。

— ありがとうございます。

社 ありがとうございます。



8月のお菓子：花火  
西鎌倉：茶の子



茶室内：稽古前の様子  
軸：平常心是道



炭切の様子

## 文化事業部だより

八月中旬の座っているだけで汗をかくような日、お寺でのお稽古の際に和尚さんが「暑い時期にわざわざ炭を熾して、汗だくになりながらお稽古するのとはとても大変だが、時を経て思いう出話になるのはそういうものだ。」とお話していただきました。

確かに心に残っているのは夏の灰作りや冬の露地掃除で、当時は大変でしたがが今となってはそれが茶道の指導の支えになっているなど気付かせていただきました。

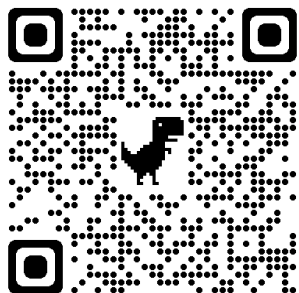
皆様も汗をかきながら夏ならではの思い出を作っていただきたいです。

木乃き庵 茶道教室

講師 松永 宗泰

うちのことなら木乃き庵にお任せを!!

床の張替えから新築工事まで、**木**を活かし**木**に活かされる暮らしを応援します。



株式会社 木乃き庵

本 社：〒247-0005

横浜市栄区桂町 325-1 パセアル本郷台 102

電話番号：09027540345

メールアドレス：[cyadosyami@kinokian.com](mailto:cyadosyami@kinokian.com)

HP：<https://www.kinokian.com>